

目次

はじめに 岩城 一郎

第1章 chapter 1 プロジェクトと私

- 01 橋を架ける仕事 — 好きだから続けられる、難しいから面白い — 山口香里 9
- 02 Bridging the Infrastructure Gap — 文明化への懸け橋 — Cleopatra Panganayi 10
- 03 現代版シルクロード 国道5号線の整備 — 内戦からの復興・発展途上国の現場から — 元山彰 14
- 04 国を超えて働くということ — 多国籍な仲間と信頼を築く — 菱田のぞみ 18
- 05 インド・メトロ口ようこそ — 日本人エンジニアがインドでメトロ口を作る — 阿部 玲子 22
- 06 中国における都市計画・交通計画の取り組み 水口仁郎 26
- 07 外国人エンジニアとして働く — 乾燥した大陸の水資源への挑戦 — 山形 景子 30
- 08 採用担当からの目線 — 最近の若手社員と求める人材 — 望月 勝紀 34
- 09 地域建設業の海外展開と見据える未来 — 才田 善之、金子 辰生 38

第2章 chapter 2 土木とライフスタイル

- 01 令和時代の道路局で進む、働き方改革 — なぜ道路局で働き方改革が必要なのか — 西上 康平 39
- 02 「空間」と「時間」の枠組みを超えて — 専門スキルを持つ人材で構成されたチームの働き方 — 佐藤 宏光 42
- 03 土木の仕事における個人主義と公益性のバランス — 裁量労働年俸制・完全リモートワークの土木技術者が、土木の働き方改革を考える — 山口尚之 49

04	北海道にこだわる―地方におけるキャリアの形成?―	谷口円	63
05	人生を変えた出会い―ホームシックに打ちのめされた海外留学生が、カナダに根を下ろすまで―	佐藤泰二郎	67
06	コロナ禍での経験を生かして―停滞ではなく変革を―	岩崎麻美	71
07	水が出る当たり前を守る―仕事のやりがいとライフ・ワーク・バランスへの思い―	尾原弘樹	75
08	わたしらしく、二兎を追って二兎を得る	本橋あずさ	80
09	チームで実現するインフラ国づくり―コロナとチカラをあわせて、公共事業から交響事業へ―	大窪香織	84
10	人生も土木も思う通りじゃないけれど、それがいい	温品達也	88
11	ベトナム鉄構技術者の9年―橋梁設計アドバイザーの報告―	渡部鐘多朗	93
第3章 chapter 3 チャレンジと私99			
01	福島から海外、そして海外から福島へ―3・11被災地福島から海外事業に取り組み意義―	遠藤秀文	100
02	三菱地所設計都市環境計画部に関する徒然論考	大橋良乃介	104
03	英国で14年間土木エンジニアとして活動して―活躍までの道のり、日本に戻って―	齊藤大輔	109
04	日本式教育の挑戦：日越大学社会基盤プログラム	ファンレ・ビン	119
05	建設コンサルタンツ協会若手の会の活動における学びと実装	伊藤昌明	127
06	韓国から、日本・英国・台湾に至るまで、13年間の海外経験について	金淨昊	132
07	健康で楽しい職場を目指して	畑佐陽祐	136
08	若手がつなぐコーヤプロジェクト―若手のチームワークが将来の技術力―	櫻井勇太	140
09	ゼネコン内勤におけるNew-Normalに対する取り組み	頃安研吾	144

10	最高のパフォーマンスを―若手中間管理職として―	水田 武利	148
11	地方の大学で芽生えた魅力と働き方	田中 泰司	152
12	若手研究者の海外でのキャリア形成―イギリスからルクセンブルクへ―	中尾 晴子	156
13	考えて、造る。土木の魅力―「悩む時間」を減らし、「考える時間」を生み出す―	関 健吾	160
14	米英で得た新たな刺激と、土木学生を惹きつけるための教育の未来	曾我 健一	164
第4章	Chapter 4 土木の技術者たちの声〜1000人アンケート〜		173
	アンケート結果から見る【社会人の働き方】と【学生が望む働き方】	中村 ゆかり、田邊 麻由子、北村 元	174
第1節	魅力的な働き方		175
第2節	勤務地と転勤		178
第3節	残業と休暇		182
第4節	ライフイベントとキャリア		190
第5節	アンケート結果を受けて		194
おわりに	羽藤 英一		200
土木学会誌掲載号一覧			203
編集後記			204